## 別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏 (法人にあっては名称)					人にあっては	主たる事業所	斤の所在地)	
名 協同精版印刷株式会社			1 1	〒 700-0941 所岡山市北区青江一丁目24-19				
	部署名:	総務経理部		721 1 47				
主たる業	/\ \kar							
土たる未	コード	大 15 未催石・	刊刷 門 別					
事業の 概 要	製販・月	7刷・その他関連	車業					
	番号	番号 工場等の名称			所 在 地			
	1 =	① 邑久工場			内市邑久町	豆田955		
県内の	② 本	社・本社工場		岡山	市北区青江-	一丁目24-19	)	
主な								
工場等								
特定事業	者②①	燃料等原油換算1,	500kl以上 🗌 ②バス・	ラック100台	ま、タクシー250台	以上 🗌 ③c		
の該当要	件 (●	工場等の数	3 所	●車両・	台数(②該当	角の場合)	台)	
温室効果が	ショー甘油が	平度(令和 元	年度) (令和	0 \/:	소세-111目.	7. 無た 本 / 人	和 6 年度)	
排出量		<u>手度(令和 元</u> 5,162 t	` ' '		度排出量 81 t CO <sub>2</sub>	目標年度( 令	和 6 年度) 4,903 t CO <sub>2</sub>	
伊山里	番号	<u> </u>	CO2 場等の名称	ა, ყა	(令和 3			
			物等の名称		(1) (1) (1)	7 1 2001	可里 3, 267 t CO <sub>2</sub>	
	2	① 邑久工場   ② 本社・本社工場			664 t CO <sub>2</sub>			
主な工場		本任 本任工物	<i>7</i> 7				t CO <sub>2</sub>	
の排出量							t CO <sub>2</sub>	
							t CO <sub>2</sub>	
							t CO <sub>2</sub>	
							t CO2	
削減目標達成状況		期間: 令	和 2 年度	$\sim$	令和 6 年	年度 (	5 箇年度)	
		総排出量基準	(3)年度削減	咸実績	目標削減率	率	目標達成	
		原単位基準	23.8	%	5.0	% ☑ 達/	成 □ 未達	
(医兴压甘	温室郊	カ果ガスの排出量と	密接な関係をもつ値の内容			立当たり排出量		
(原単位基 の削減目標					年度 (	3 )年度	目標年度	
選択してい 場合に記入						,		
				CO <sub>2</sub> /(	) CO:	2/( )	$CO_2/($	
				, (	7 00.	2/ ( ,	CO2/ ( /	
	美者のみ記.		2) / - L	<u>.</u>				
(該当事業 ベンチマー 指標の出	美者のみ記 -ク 対	入) ・象事業の名称	ベンチマーク	<u>.</u>	関連数値(		年度)達成率等	

## 【削減状況の自己評価】

基準年と比べると令和3年度も温室効果ガス排出量を削減することができた。空調機や照明器具を入れ替える際には高効率化製品を導入し更なる排出量の抑制に努める。

【推進体制】

省エネ法に基づきエネルギー管理統括者を中心としたエネルギー管理体制を整備

「日毎削減家達成のために宝梅」を世界及び合名の取組】

_【目標削減率達成のために実施	<u> した措置及び今後の取組】                                    </u>
工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
(令和3年実施分)	(令和3年度実施分)
全社	冷暖房温度及び稼働時間の管理によるエネルギー使用量の削減をした(100
A 41	t CO2/年)
全社	OA機器の節電
全社	無人スペースの消灯及び照明の間引き
全社 本社	蛍光灯をLEDに一部変更した(4 t CO2/年) エアコンの一部を高効率製品に変更した(200tCO2/年)
(今後実施予定分)	(今後実施予定分)
全社	設備更新の際に省エネ製品を購入 (15 t CO2/年)
全社	エアコンの入れ替え (200 t CO2/年)
全社	無人スペースの消灯の継続
全社	高効率照明器具の導入(9 t CO2/年)
邑久工場	外気導入による熱気の排出と冷房負荷の削減による省エネ化

<b>-</b>			
$\mathbb{Z}_{++}$		加海対策へ	
	T - F IV	11 / 11 / 12 / 12 / 1	<b>、(/ ) H V 金口</b> )

県内で の取組	無	
その他	無	

## 【再生可能エネルギーの導入】

県内で の取組	無	
その他	無	

## 【その他特記事項】

- ①冷暖房設備の使用電力の低減のため、クールビズ、ウォームビズ運動に取り組んでいる。
- ②設備更新時に省エネ製品を購入する。
- ③作業場所を集約し、電力削減を行う。 ④生産性の向上を図り、電力削減を行う。
- ⑤生産設備の稼働台数を見直し、電力削減を行う。